

ISE for Hyper-Vのインストールに必要なISOファイルのダウンロード

内容

お問い合わせ内容

Hyper-V環境へのCisco Identity Services Engine(ISE)のインストールに必要なISOファイルを探しているとき、Cisco Software Downloads (登録ユーザ専用) ページで利用可能なファイルが、必要なHyper-Vインストールファイルではなく、ハードウェアアプライアンスのアップグレードファイルであるように見えます。

環境

- Cisco Identity Services Engine(ISE)バージョン3.4
- Microsoft Hyper-V仮想化プラットフォーム
- シングルノードISE導入設定

解決策

Cisco ISE Hyper-Vインストール用のOVAファイルとISOファイルは、[Cisco Software Download Center](#)から入手できます。次の手順に従って、適切なインストールファイルを検索します。

ダウンロードプロセス

適切なISOファイルをダウンロードするには、次の手順に従います。

1. [Cisco Software Download Center](#)にアクセスし、Identity Services Engine [Software Downloads](#)ページを見つけます。

2. 左側のナビゲーションメニューで、[すべてのリリース]を選択し、必要なファイルのバージョンを選択します (例 : 3 > 3.4.0)

3. ise-3.4.0.608*.SPA.x86_64.isoという名前のファイルを見つけます

これらのファイルは仮想マシンのインストール専用であり、ハードウェアアプライアンスのアップグレードファイルではありません

Hyper-Vの推奨されるVM仕様

Microsoft Hyper-Vの導入では、次のVM仕様が推奨されます。

- ディスク : スタンドアロンの実稼働ノードでは600 GB以上
- NIC : 必須1、2個以上を推奨、最大6個をサポート
- ディスクレイアウト : 単一の仮想ディスクを使用
- Hyper-V世代 : 第1世代
- シングルノード導入の場合、文書化されている最小の実稼働プロファイルは次のとおりです。
 - - 16 vCPU
 - メモリ 32 GB
 - 600 GBの単一仮想ディスク
 - vNIC最小1つ
- CPUとメモリ
 - 一致するアプライアンスクラスによるHyper-Vサイジング :
 - スモール/SNS 3615クラス : 16 vCPU、32 GB RAM
 - スモール/SNS 3715クラス : 24 vCPU、32 GB RAM
 - スモール/SNS 3815クラス : 32 vCPU、64 GB RAM

原因

シスコのダウンロードポータルには、ハードウェアアプライアンスのアップグレードファイルと仮想マシンのインストールファイルの両方が含まれています。ISOファイルにアクセスするには、ISEのCisco Software Download Centerの製品ページから、パッチバージョンのないベースファイルをダウンロードします。

関連コンテンツ

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)
- [Cisco Software Download Center](#)
- [ISE 3.4 Hyper-Vの要件](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。